

九十九本目の生娘（1959）

メディア 映画
ジャンル ホラー サスペンス アクション
製作国 日本
色彩 B&W
時間 83分
初公開日 1959/09/12

【解説】
大河内常平「九十九本目の妖刀」の映画化。三原葉子のセクシーシーンが話題となった猟奇活劇。岩手県北上川上流の白山村。ここで十年に一度行われる“火づくり祭り”には、秘密があった。祭りのたびに、名高い“舞草の名刀”を生娘の生き血を用いて鍛えていたのだ。九十九回目の祭りとなる今回、警察署長の美しい娘、加奈子に白羽の矢が立ち、彼女は誘拐されてしまう。警官隊と村民たちの息詰まる戦いが始まって……。

【クレジット】
監督 曲谷守平
製作 大藏貢
企画 島村達芳
原作 大河内常平
脚本 高久進
藤島二郎
撮影 岡戸嘉外
美術 宇寿山武夫
音楽 松村禎三
井内久
助監督 橋田寿久年
出演 菅原文太 阿部政之
三原葉子 鈴木三重子
矢代京子 及川加奈子
松浦浪路 あざみ
沼田曜一 弓削部宗晴
五月藤江 老婆
国方伝 五郎丸
中村虎彦 及川忠太夫
芝田新 舞草族の長
水上恵子 津川花代
九重京司 高津秀隆
倉橋宏明 富岡
中西博樹 警察医佐藤
松方信 副長
岡竜弘 鑑識主任三田

国創典	水沢所次長殿村
石川冷	刑事浜田
山川朔太郎	巡查奈良崎
鈴木信二	藤倉
由木城太郎	今野
小森敏	源三
宇田勝哉	平作
万代裕子	及川の妻
藤川洋子	炭焼女